

◆発行／北見赤十字病院地域医療連携室 北見市北6条東2丁目1番 ◆発行責任者／吉田 茂夫
http://www.kitami.jrc.or.jp/ E-mail : renkei @kitami.jrc.or.jp

新病院移転関係について (引越し予定、新病院になつての変更内容など)

事務副部長 相原 義孝

今年の夏は、全国各地で異常気象による集中豪雨のため、土砂崩れ・土石流などにより甚大な被害が発生しましたが、災害時における相互支援協定を締結した災害拠点病院4病院（広域紋別病院、網走厚生病院、遠軽厚生病院、北見赤十字病院）が活動することなくホッとしています。が、本当にこの様な災害が少ない事を祈ってやみません。

さて、当院は新病院（本館）完成間近となっておりますが、この度の火災におきましては、まだ建設企業から病院への引き渡し前とはいえ、地域の皆様には大変ご心配をお掛けいたしました。その際、お見舞い電話やメールなど多くの方々から頂戴し、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。

この様な状況下にあります。新病院への引越は11月28日（金）の午後から開始し11月30日（日）に完了する予定です。その間、外来・入院患者様を始め地域の皆様にもご迷惑をお掛け致しますが、三次救急患者の受入につきましては、これまで同様の対応態勢をとり緊急対応に備えて参ります。

開院日は、予定通り12月1日（月）となります。地域の皆様に対する内覧会につきましては、11月22日（土）竣工記念式典の翌日11月23日（日）の午後1時から5時（受付締切4時）を予定しております。

新病院で大きく変更となる部分としましては、外来受付方法が変更となり、従来の診療科毎の受付窓口から複数診療科がまとまった「外来受付」となります。（小児科、産婦人科、神経精神科は、単独受付になります。）

外来受付では「診察番号票・外来基本票」が手渡され、これまで診療番号は診療科毎に発行されましたが、オープン以降は「病院の共通番号」となり、お渡しする「診察番号」が1人1つになります。（神経精神科も同様）

我々、病院職員も新病院完成を心待ちにしておりますが、地域の皆様からの期待と信頼に心えるべく準備を進めておりますので、オープンを皆様と一緒に喜べますよう日々研鑽し精進して参ります。以上、現時点での進捗状況等についてのご報告とさせていただきます。

我々、病院職員も新病院完成を心待ちにしておりますが、地域の皆様からの期待と信頼に心えるべく準備を進めておりますので、オープンを皆様と一緒に喜べますよう日々研鑽し精進して参ります。以上、現時点での進捗状況等についてのご報告とさせていただきます。



「第1回北見医師会症例検討会」に参加しました。

今回、北見医師会が主催する標記検討会に参加致しました。北見地域における医療機関の連携を図ることを目的に、各医療機関と北見赤十字病院間での連携症例を中心に、症例検討会を年2回開催するというものです。平成26年9月19日（金）、19時より北見医師会の会議室にて開催されました。

愛し野内科クリニック 岡本 卓 院長の進行により、活動報告として「北見赤十字病院における地域医療連携の現状」を林地域医療連携室長が行い、症例報告としては「診断が困難であった歩行障害症例」を北見赤十字病院 鈴木 望 副院長が発表を行いました。症例報告では、岡本院長の補足説明もあり、その後、意見交換が行われました。最後に古屋会長からの挨拶として、「非常に勉強になる内容でした。今後、年2回、病診連携として直接、顔を合わせる場として行きたい」と話されていました。



（地域医療連携室）

お知らせ 新病院における外来受付方法の変更について

平成26年12月1日オープンの新病院では、診療科毎の受付窓口から複数診療科がまとまった「外来受付」となります。（小児科、産婦人科、神経精神科は、単独受付になります。）

「外来予約票・診察カード」をご持参いただき、下記に示す「外来受付1～4、小児科、産婦人科、神経精神科」に提出して下さい。外来受付では「診察番号票・外来基本票」が手渡されます。

これまで診察番号は診療科毎に発行されましたが、オープン以降は「病院の共通番号」となり、お渡しする「診察番号が1人1つ」になります。

手渡された「診察番号票」には氏名が記載されていますので、ご自身のもので間違いのないか、確認をお願い致します。

全ての診察が終了しましたら、「外来基本票」を「外来会計」までお持ち下さい。

北見赤十字病院

記

◇1階フロア
「外来受付 1」⇒ 整形外科 ペインクリニック内科 脳神経外科 放射線科
外科 消化器外科 消化器内科 腫瘍内科

◇2階フロア
「外来受付 2」⇒ 内科・総合診療科 眼科
「外来受付 3」⇒ 泌尿器科 循環器内科 緩和ケア内科 腫瘍精神科
「外来受付 4」⇒ 皮膚科 形成外科 頭頸部・耳鼻咽喉科

小児科受付 ⇒ 小児科
産婦人科受付 ⇒ 産婦人科
◆旧館・東館1階（エレベータ横）
神経精神科受付 ⇒ 神経精神科

『注意事項』

1. 診察番号は、病院共通の番号になり、お一人様に1枚発行されます。

- 例えば、1階フロアの「外来受付 1」整形外科と2階フロアの「外来受付 3」泌尿器科の両診療科を受診する場合には、それぞれの「外来受付」で手続きを行って下さい。
 - 複数の診療科受診の方は、同じ診察番号での受付が必要となりますので、「外来受付 1～4」などの窓口で受付を行って下さい。
 - 例えば、内科受診後に循環器内科の診察予約がある場合、循環器内科では、内科にて手渡された番号を引き続き使用していただきます。
 - 紛失時は、再発行の手続きが必要となりますので、受診科が含まれる外来受付窓口にお問い合わせ下さい。
2. 受付後は、「外来受付」近くの「外来待合ホール」でお待ち下さい。
- 診察の順番が近くなり、「電光掲示板」の「まもなく呼びします」の部分に「診察番号」が表示されましたら、掲示板の担当医師名の診察室番号前まで移動しお持ち下さい。（各診察室の番号は1～66までの通し番号になっており、大きくドアにも表示されています。）

当日、ご不明な点がございましたら、お近くのスタッフにお尋ね下さい。

登録医紹介

■田畠慎哉院長先生質問コーナー

診療科：循環器科・内科

趣味は何ですか？ — フライフィッシング・乗馬

《1. 自己紹介・アピール》

平成8年、耳鼻咽喉科専門医として昭和33年より開業していた先代の医院に併設して循環器科・内科を開業しました。心臓超音波検査機、トレッドミル運動負荷機、ホルター心電計等導入しましたが、当時は循環器科という科がまだまだ認知されていず、暇な外来が続きました。少しずつ患者さんが増えるにつれ、こんなに治療を受けたことのない循環器患者さんがいたのかと驚いたのを思い出します。これからも地域密着型診療所として、心臓病、生活習慣病は勿論のこと幅広く内科疾患に対応した医療を提供できればと考えております。

《2. 医療連携について》

科を問わず、身の丈を超える疾患に出逢った際、応急処置をし、そして迅速に適切な機関病院へ、紹介・搬送する事が地域医師の使命だと考えています。患者さんにとって”一番メリットとなる方法は何なのか”をいつも意識して診療しております。

《3. 最近の出来事》

今まで頑張ってくれたトレッドミル運動負荷機がついに…。新しいトレッドミル運動負荷機を購入しました。



医療法人社団 田畠医院



〒092-0015

美幌町字新町2丁目3番地

TEL (0152) 73-2035

理事長・院長：田 畠 慎 哉

出身地：北海道

所属学会・資格分野：

日本循環器学会認定循環器専門医・日本内科学会認定内科医

日本冠疾患学会会員・日本心臓病学会会員

日本医師会認定産業医・北海道小児救急地域医師

北海道警察医会検案認定医・北海道北見方面美幌警察署警察医

美幌医師会理事

〈診療受付時間のご案内〉

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後4:00~7:00	○	×	○	×	○	×	×

消化器内科・腫瘍内科外来 受診方法変更のお知らせ

謹啓 秋晴の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当院運営に際し、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げますと共に、消化器内科・腫瘍内科をご利用いただきお礼を申し上げます。

さて、現在、「消化器内科・腫瘍内科」外来では受診患者様が年々増加しており、そのことから、事前予約がなく受診されるご紹介患者様において外来待ち時間が延長している現状がございます。

つきましては、緊急の患者様を除き、新病院での診療より下記の通り「完全予約外来」に変更させていただきますことになりました。

新規紹介受診患者様の事前予約の利便性向上を図ることで、待ち時間短縮を目指しますので、各医療機関様には紹介予約を頂く上で、ご負担お手数をお掛けいたしますが、何卒ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

「消化器内科・腫瘍内科外来」 完全予約外来 開始日：平成26年12月1 日(月)より

《受診方法》

1. 原則、予約患者様のみの診療

◎初診の患者様の場合は、各医療機関から当院「地域医療連携室」へ診療予約申込書と診療情報提供書をFAXしていただき事前に予約した上で、診療情報提供書（原本）を持参のうえ、新館1階「紹介患者受付」窓口までお越し下さい。

（紹介状持参の患者様でも事前の予約が無いと、当日の受診は原則出来ないことになります。）

※ 紹介手順詳細につきましては、当院「地域医療連携室マニュアル」をご参照下さい。

（予約申込みFAX受信後、原則20分以内に予約票を返信いたしますが、院内調整のため返信に時間がかかる場合には電話にてご連絡いたします。）

◎再診患者様の診療予約（変更含む）は「予約受付」または、「消化器内科・腫瘍内科外来」までお申し出下さい。

2. 緊急受診をご希望の場合

来院前に「消化器内科・腫瘍内科外来」まで、電話によりご連絡をお願い致します。

また、来院された場合は、新館1階「新患受付窓口」へお申し出下さい。

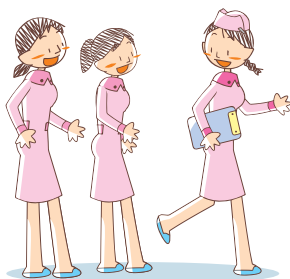
【お問い合わせ先】 地域医療連携室 電話 フリーダイヤル 0120-018-299
FAX フリーダイヤル 0120-018-599

平成26年度 1日看護師体験を終えて

8月8日（金）、高校生を対象とした「1日看護師体験」が終わりまりましたので、ご報告致します。北見北斗高校・北見柏陽高校・北見緑陵高校・北見藤女子高校・美幌高校・留辺蘂高校・遠軽高校の7校から、40名の募集枠で案内をしましたが、募集定員を超える多くの方から申し込みいただきました。最終的には、学校単位で人選していただき、1年生30名、2年生4名、3年生5名の計39名（女子38名、男子1名）の方が参加されました。学校の先生からの情報によると、看護職を目指す学生が増えているためニーズが高いとのことでした。

例年気温が高い時期の行事で、今年度も蒸し暑く、参加者の皆さんは緊張されていましたが、午前は病棟見学と看護体験、午後は岩間看護副部長からの講話や救急外来の見学などを行うことができました。病棟見学では、清拭や洗髪・手浴・足浴・入浴介助・血圧測定等の看護体験をすることができました。救急外来見学では、実際に、ストレッチャーに寝てもらいSpO2モニターをつけるなどの体験しながら説明を行うことで、より興味もてる様子でした。アンケート結果から、看護師と一緒に行動してケアを見学することで、「看護師の仕事の間近で見られて良かった。看護師を目指す気持ちが高まった。」「看護師さんが仕事をする姿を見て、自分もいつか患者さんに、この看護師さんといくと安心する、元気が出ると思ってもらえるような看護師になりたい」「患者様と少しお話ができて嬉しかった」「看護師の仕事は注射したりするだけだと思っていたので、この体験で患者さんのケアをしたり、ベッド周りの掃除をしたり患者様がより過ごしやすいうようにしていた」救急外来の見学については、「現場の緊迫した雰囲気伝わった」となどの感想が聞かれ、看護師の仕事の理解が深まり、今後の進路や将来をより具体的に考える機会となる有意義な体験になったと思います。

看護部



認定看護師

感染管理認定看護師

竹中 真美

近年、多剤耐性緑膿菌などの薬剤耐性菌や腸管出血性大腸菌感染症などの新興感染症が問題となっています。微生物は肉眼では見えませんが、私達の体や周辺環境に常に存在しています。

病院は疾患を持った患者様が入りをする場所であり、健康な人にも無害な微生物であつても、抵抗力の落ちた患者様の場合は感染症を引き起こすことがあります。

患者様を感染から守り、安心・安全に医療を受けていただけるよう感染予防活動に取り組んでいます。主な活動内容は、具体的に実践可能な感染防止技術の導入とスタッフ教育、感染リンクナースの育成、ポスター等での啓発活動、院内ラウンド、コンサルテ-



ションです。

現在は一般病棟で勤務し、尿道留置カテーテルの早期抜去や管理方法について勉強会を開催したり、手指衛生の適切な方法やタイミング等の指導を行っています。

感染対策は休むことなく病院全体で取り組まなければなりません。日々自己研鑽し、医師・薬剤師・臨床検査技師・栄養士等多くの職種と協働しながら感染予防に努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

救急看護認定看護師

彌富 祐樹



2014年の今年から、当院だけではなくオホーツク圏でも初めての救急看護認定看護師となりました。

オホーツク圏に30万人の人口が、いつでも救急看護の対象となり得ます。オホーツク圏で唯一の3次救急医療施設として当院は、文字通り最後の砦として日夜救急患者の対応をしています。

突然の疾病や外傷によって病院へ搬送されてくる患者さんやその家族の方の多くは、「助かるのか」「入院前の生活に戻れるのか」などの強い不安を抱えます。十分に考える時間もないまま、治療の選択を迫られる状況もしばしば見受けられます。その中で、患者さん自身の希望する治療が受けられるように、そこに在る医師・看護師・患者さんに働きかけていきます。

認知症看護認定看護師

太田 くり



認知症を持つ方は入院・治療に関連した生活環境の変化に適応する力が低下しており、焦燥などの症状が悪化しやすい、転倒による医療事故、さらに、せん妄や感染症・肺炎などの合併症を起こしやすい、入院が長期化しているのが現状です。そのような方が安心して入院生活を送っていただけるようお手伝いしたいと資格を取得しました。

認知症を持つ方は、自分の知的低下に気づき・不安を感じ、自分の思いをうまく伝えられない中、懸命に生活されています。認定看護師として、「その人」の視点で理解しようとする姿勢を持ち、「その人らしく」より良い状態になる力を引き出せるように、その方の言葉と行動から思いを

認知症看護認定看護師

福島恵美子



近年、認知症は増加の一途を辿り、2012年現在、推定462万人で65歳以上の4人に1人が罹患し、軽度認知症(MCI)を入れると800万人以上と言われています。当院でも、認知症を持ちながら身体疾患によって入院してくる患者様が年々増加しています。

認知症のある方は、環境の変化に適応する力やコミュニケーション能力が低下していきます。入院による突然の環境の変化は、その方たちにとつても不安で、混乱を来たしてしまいます。看護師は、さまざまな反応で自分の気持ちや表現する認知症のある方の思いに気づいてケアをしていかなければなりません。私は、患者様やご家族が、安心して療養生活が送れるよう支援を行っています。同時に、

捉えるとともに、ケア環境を整えていくことに努めています。また、せん妄のリスクが高い患者様に対して、予防から介入する「せん妄対策リエソニックチーム」の一員として活動しています。

今後はもの忘れ外来を受診される患者様・ご家族へのサポートや認知症看護に関する研修を行い、実践できるスタッフを増やしたいと考えています。認知症ケアについてなど、お気軽に声をかけていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

スタッフが認知症の正しい知識やケアの基本を習得し、その人の思いに沿ったケアが提供できるよう指導していくことが、当面の私の役割であると感じています。

現在は、患者様が急性疾患の治療を予定通り受け、入院による混乱なく早期に地域に帰れることを目指し、多職種で構成した「せん妄対策リエソニックチーム」を立ち上げ、院内を横断的に活動しています。今後は、院内のみならず地域にも目を向け、地域で認知症を支援している方々との連携も深めていきたいと考えておりますので、是非お気軽にご利用下さい。

『第3回認知症疾患医療連携講演会』を開催しました。

認知症疾患医療センターの事業として、標記講演会を平成26年10月8日(水)、当院東館4階大講堂にて開催しました。関係者向けの研修事業としてご案内した所、75名の参加者にお集まり頂き、開催することが出来ました。

吉田病院院長が座長となり、当院看護部の認知症看護認定看護師、太田くり・福島恵美子看護係長による『高齢者のせん妄ケア』要因と予防』という内容で講演を行いました。内容につきましては、当院ホームページ↓患者さま・ご家族の方へ↓認知症疾患医療センターの中に掲載されておりましてご覧頂ければと思います。

参加者アンケートからは、「アセスメントすることの大切さがわかりました」、「ケアによっては高齢者の人生を左右してしまうことを心に止めておきます」、「事例を色々聞いてみたいです」等の意見があり、次回の参考にしていきたいと思っています。



平成26年度 がん診療連携拠点病院としての取り組み

平素より、がん診療連携拠点病院としての当院の取り組みにご協力、ご理解いただき誠にありがとうございます。この場をお借りしお礼申し上げます。今後も何卒よろしくお願いいたします。

さて本年も、地域医療従事者のスキルアップと最新情報の提供を目的として、様々な取り組みを行い、9月には地域住民に向けての公開講座を開催させていただきました。

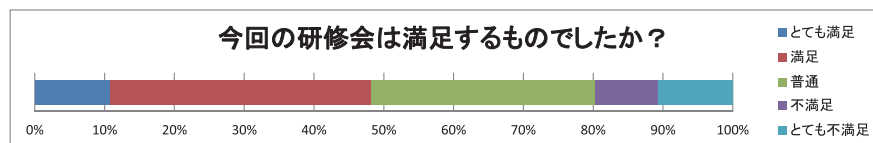
本年度上半期の研修会、勉強会などの開催報告をアンケート結果を交えて行わせていただきます。

第12回 化学療法勉強会 『医療統計について学ぼう』 平成26年5月23日（金）

講師：北海道大学病院 高度先進医療支援センター 特任助教
天野 虎次先生

参加者：72人 ＊院内 69人（医師17人、看護師24人、その他28人）
＊院外 3人（医師2人、その他1人）

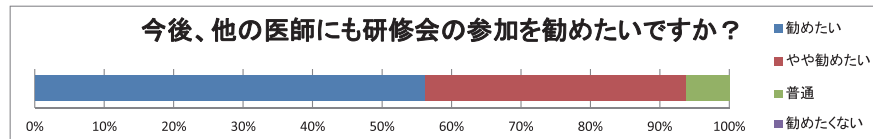
アンケート 56枚回収（81.2％）



第6回 北見赤十字病院 がん診療に携わる医師のための緩和ケア研修会 平成26年8月9日（土）10日（日）2日間

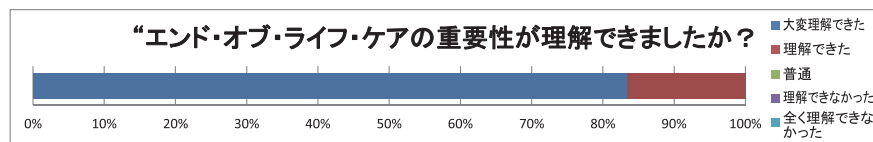
参加者：16人 ＊院内7人（医師5人、研修医2人）
＊院外9人（医師2人、看護師3人、薬剤師3人、理学療法士1人）

アンケート 16枚回収（100％）



ELNEC-J in 北見（看護師対象 緩和ケア研修会） 平成26年8月23日（土）24日（日）2日間

参加者：42人（院内15人、院外27人）アンケート 42枚回収（100％）



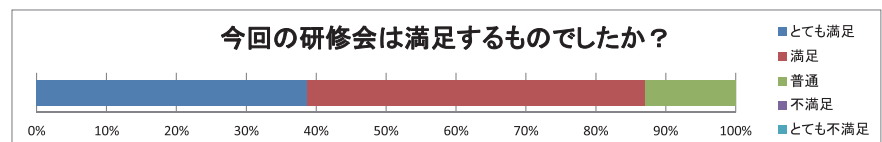
第46回 緩和ケア勉強会『レスキュー薬最近の話題』 平成26年9月10日（木）

講師：『レスキュー薬に使用する薬剤の特徴』 塩野義製薬株式会社 がん疼痛克服推進部 下田耕司氏

講師：『フェンタニル口腔内崩壊錠の使い方～特にフェンタニル舌下錠について』 北見赤十字病院 緩和ケア内科部長 後明 郁男

参加者：81人 ＊院内 63人（医師1人、看護師48人、その他14人）
＊院外 18人（医師1人、看護師6人、薬剤師11人）

アンケート 62枚回収（76.5％）

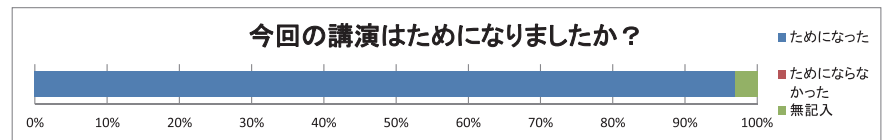


市民公開講座 『乳がん～北見赤十字病院での取り組み～』 平成26年9月27日（土）

講師：北見赤十字病院 第二外科部長 新関 浩人
北見赤十字病院 形成外科副部長 江平 まり子
北見赤十字病院 乳がん看護認定看護師 田邑 泰子
北見赤十字病院 がん薬物療法認定薬剤師 堀 大
北見赤十字病院 理学療法士 大段 裕樹

聴講者 152人

アンケート 97枚回収（63.8％）



今後も、皆様のご要望にお応えできるよう様々な研修会、勉強会などを計画、実施して参ります。お時間が合えば是非ご参加下さい。また、当院ホームページにがん診療のご案内というページを作成し、そちらでも様々な情報提供を行っております。そちらも併せてご覧いただければ幸いです。

（がん対策推進室）



北見赤十字病院 市民公開講座 胃がん予防～ピロリ菌について知ろう～

平成26年8月24日（日）13:00～15:00

北見芸文ホール 中ホール

座長：北見赤十字病院 消化器内科部長 上林 実

講演1

「胃がんで亡くならないために」

北海道大学大学院医学研究科

がん予防内科学講座 特任教授（美幌町出身） 浅香正博先生

講演2

「当院健康管理センターにおける胃がん検診の現状」

北見赤十字病院 消化器内科副部長 江平宣起



平成26年8月24日（日）胃がん予防ピロリ菌について知ろうと題して、北見市芸文ホールにて市民公開講座が開催されました。当日、北見地方には珍しい大雨警報が出される程の激しい雷雨の中、びしょ濡れになりながら100名を超える多くの方に足を運んで頂く事が出来ました。

上林実消化器内科部長が座長となり、市民公開講座が始まりました。江平宣起消化器内科副部長が「当院健康管理センターにおける胃がん検診の現状」と題して、胃バリウム検査から胃内視鏡検査への移行が年々増大しているという状況を講演して頂きました。

その後、北海道大学大学院医学研究科 がん予防内科学講座 浅香正博特任教授をお招きし、「胃がんで亡くならないために」と題して講演して頂きました。ピロリ菌は、様々な物質を放出し

て胃の粘膜を傷つけ、胃・十二指腸潰瘍や胃がんの原因になっている事が解かっています。浅香教授は、「ピロリ菌を排除する事で潰瘍の再発や胃がんの発生を予防できる」と力説されていました。血液検査で手軽にできる胃がんリスク検査のABC検診を勧めています。

ここ数年は、浅香教授の影響も大きく、自治体でABC検診を実施しているところもあります。美幌町では、中学生にピロリ菌の検査を実施しているという取り組みもあります。

当院においても、今年度から35歳以上の職員を対象にABC検診を導入しました。今一度、今年度の健康診断の結果表をご覧下さい。ピロリ菌が陽性の方は、是非、除菌をお勧めします。

最後に浅香教授からは、「検査と除菌で胃がんの撲滅を」と強い思いを語って頂きました。

『PET-CTがん検診』のご案内

=H26年9月1日開始=

平成26年4月より、オホーツク圏内にはじめてのPET-CT施設『オホーツクPETセンター』が開設され、オホーツク地域の多くの方が利用され始めました。旭川や札幌などの遠方まで出かけて受けていた検査を地元で受けることが出来ることで、少しでも地域の方に還元されていくことを願っています。

このPET-CT検査はFDG（フルオロ-D-グルコース）という検査薬を使用し検査を行っています。この検査薬を使用することでがんの病巣に集まってくる特徴を活かし、抽出された画像を確認し、がん診断への精度を高めることが出来ます。

この検査をがん検診という立場で行うことで、特定の部位(胃・肺・大腸・乳・子宮等)のがんだけではなく、一度の撮影でほぼ全身を調べるため、予期せぬところに来たがんを発見することにも期待できます。

このPET-CT検査はすべてのがん発見に万能とまではいきませんが、生理的に診断が困難な身体のある場所もあります。それらを補えるように超音波、血液、尿、便等の検査項目をセレクトしたコースを用意しましたので是非ご利用いただければと思います。日本人の2人に1人はがんを発病するとされています。

そのがんが少しでも早期に見つかることで治療方法の選択肢が広げられ、身体への侵襲の少ない治療を選ぶことが可能になります。病気や治療は、ご本人だけではなくご家族の負担や職場など社会的にも大きな影響があります。

早い段階での発見、効果的な治療を受けて根治（完治）の可能性を高め病後の生活の質を高めることなく過ごしていくためにも、がんの早期発見にお役立て下さい。

《コースの紹介》

- ◆バリューパック

11,340円(本体10,500円+税8,400円)

○PET-CT

○超音波検査

○血液検査

○腫瘍マーカー

○内分泌検査

○ABC検診

○尿検査

○便検査

○医師面談

○結果通知
- ◆シンプルパック

84,240円(本体78,000円+税6,240円)

○PET-CT

○結果通知

詳細はお問い合わせください。
 0157-24-3115 月～金(休診日を除く) 13:30～16:30 健康管理センター

PET-CT検査4月～9月の稼働状況について

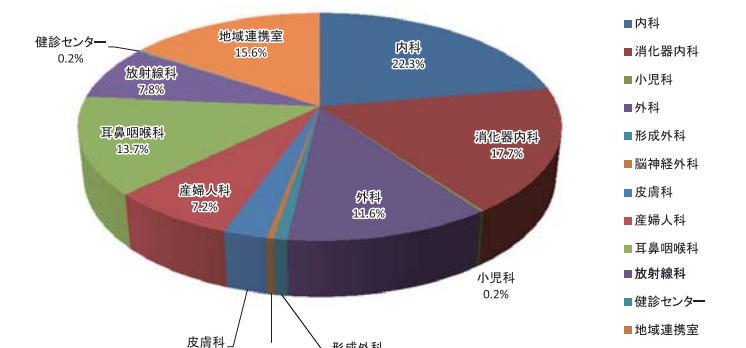
診療科別 (カッコ内は入院患者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	総計
内 科	19	19 (1)	21	19 (2)	15 (2)	24 (2)	117
消化器内科	10	22	16 (4)	15 (1)	20 (2)	10 (2)	93
小児科	0	0	1 (1)	0	0	0	1
外科	7	9	7	17 (1)	8	13	61
形成外科	0	0	1	1	2	0	4
脳神経外科	0	2 (2)	0	0	0	0	2
皮膚科	2	2	3	2	2	2	13
産婦人科	8	3	5	12	6	4	38
耳鼻咽喉科	6	4	13	15	15	19	72
放射線科	5	9	6	7	4	10	41
健診センター	0	0	0	0	0	1	1
地域連携室	0	4	10	24	26	18	82
連携室割合 (%)	0	5.4	12	21.4	26.5	17.8	15.6

地域医療連携室内訳

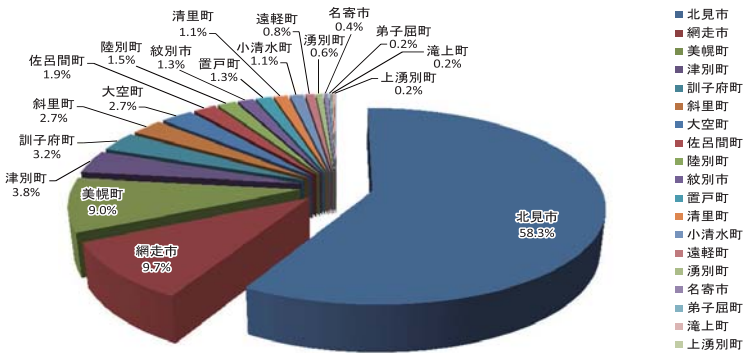
	4月	5月	6月	7月	8月	9月
網走厚生病院	0	2	6	9	7	5
小林病院	0	1	3	2	5	3
斜里国保病院	0	1	0	0	0	0
道立北見病院	0	0	1	7	7	3
本間内科医院	0	0	0	1	0	0
津別病院	0	0	0	1	0	1
広域紋別病院	0	0	0	1	0	0
愛し野内科クリニック	0	0	0	2	0	0
名寄市立病院	0	0	0	1	0	0

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
道東脳神経外科病院	0	0	0	0	1	0
金川医院	0	0	0	0	1	0
みやまクリニック	0	0	0	0	1	0
遠軽厚生病院	0	0	0	0	3	1
北見中央病院	0	0	0	0	1	0
オホーツク総合医療センター	0	0	0	0	0	3
ナグモクリニック東京	0	0	0	0	0	1
北大病院	0	0	0	0	0	1
合 計	0	4	10	24	26	18



被検者地域別 統計

北見市	306	斜里町	14	置戸町	7	名寄市	2
網走市	51	大空町	14	清里町	6	弟子屈町	1
美幌町	47	佐呂間町	10	小清水町	6	滝上町	1
津別町	20	陸別町	8	遠軽町	4	上湧別町	1
訓子府町	17	紋別市	7	湧別町	3	計	525



オホーツク医療環境研究講座・研究室 開設5年記念講演会

平成26年9月9日、日本赤十字社医療センター 院長 幕内雅敏先生をお招きし、オホーツク医療環境研究講座・研究室 開設5年目記念講演会を開催いたしました。

テーマは「肝切除と肝移植」に関するお話があり職員88名の参加がありました。

まずは最近の肝臓癌の話題ということで、肝細胞癌の原因について以前(1980年代)はほぼHBV、HCVが原因の肝細胞癌であったものの2010年では70%は肝炎ウイルスが、残りの30%はアルコールや脂肪性肝炎が原因の肝細胞癌であるとのことでした。30%は生活習慣(禁酒・減酒、カロリー制限)で予防できることから健診での定期的なSOLチェックが必要であることや生活習慣の是正も必要であるとのこと。幕内先生の専門分野である肝切除術の話題では、実際の手術画像を用い管内血管の走行等について説明があり最近行われている解剖学的切除の全国調査に関する報告についてのご説明を頂きました。高い生存率がでなかったことについてその理由としては統計分析に足る十分な症例数に達していなかったことや外科医の技量不足などがあり今後の課題として挙げられていました。

今回は他職種の職員が多数参加となり、盛況のうちに終了いたしました。今後も各分野の研修会を開催し職員の研鑽を積みオホーツク圏内の医療へ貢献できるよう努めてまいります。今後ともご支援の程、よろしくお願い致します。

(オホーツク医療環境研究室)

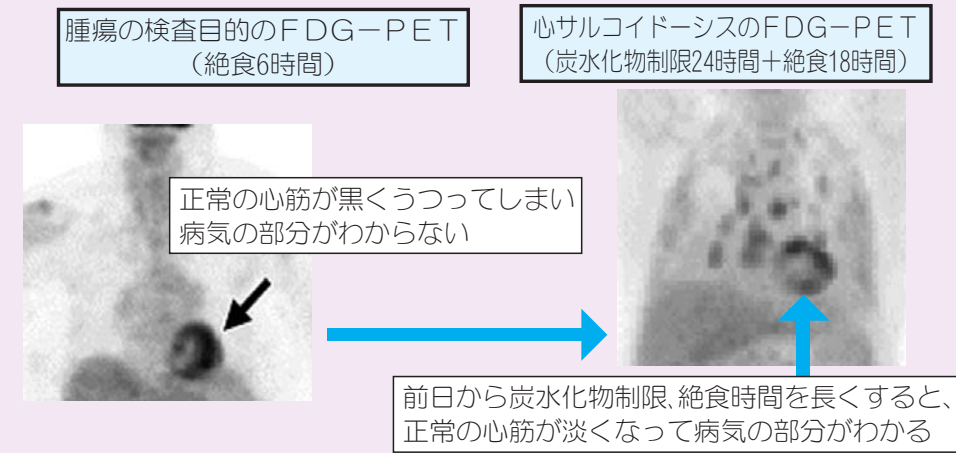
【今後の予定】

- オホーツク医療環境研究講座セミナー
- 平成26年11月14日(金)18:30～
札幌医科大学 神経内科学講座
助教 津田笑子先生
テーマ「重症筋無力症」に関わる内容
 - 平成27年1月7日(水)18:30～
札幌医科大学 呼吸器・アレルギー内科学講座 助教 高橋守先生
テーマ「ステロイド(パルス)を必要とする呼吸器疾患・呼吸不全」に関わる内容
 - 平成27年2月4日(水)18:30～
札幌医科大学 救急医学講座
上村修二先生
テーマ「喘息重責発作、急性呼吸不全、腎不全の救急領域での治療」に関わる内容

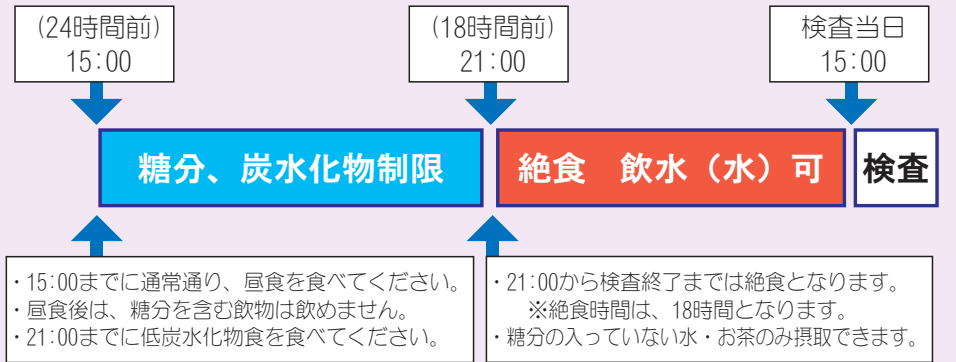


心臓サルコイドーシスのためのFDG-PET検査 開始について

心臓サルコイドーシスの心臓への炎症部位やその程度を調べる検査です。正確な画像を撮るために、以下の準備があります。守って頂けなかった場合正確な結果がでないことがありますのでご注意ください。



24時間の食事制限があります。**当日は15時**からの検査になりますので、**前日の15時**まで通常の食事は召し上がれます。それ以降は以下の指示に従ってください。



※24時間の食事制限中、飲食していいもの、ダメなものにつきましては、『**炭水化物5g食**』でご確認してください。

- 摂取してはいけないもの(絶対禁)
 - ・糖分を含む飲み物、食べ物(人工甘味料×)、炭水化物を含む食事(ご飯、パン、麺類、果物等)
- 前日(18時間前) 21時から絶食。糖分の入っていない水・お茶のみ摂取できます。

詳細につきましては、当院ホームページを参照、または地域医療連携室までお問い合わせ願います。

外 来 の ご 案 内

診 療 科 目

- ★内科・総合診療科
(完全予約制)
- 脳神経外科
- ★消化器内科
(平成26年12月1日～完全予約制)
- 皮膚科
- 神経精神科
- ★泌尿器科
(完全予約制)
- ★循環器内科
(完全予約制)
- 産婦人科
- 小児科
- 眼科
- 外科
- 頭頸部・耳鼻咽喉科
- ★整形外科
- 放射線科
- 形成外科
- 麻酔科
- パインクリニック（心療内科-休診）★：紹介状が必要です

休 診

- 土曜日 ●日曜日 ●祝日
- 12月29日～1月3日
- 5月1日（日本赤十字社創立記念日）

事前予約について

紹介状を持参される患者様につきましては、患者様の受診希望日時を事前にFAXにて予約診療のお申し込みいただきますと、診察当日、待ち時間が短縮されます。ぜひご利用願います。(但し、急患の場合は各科へ直接連絡願います。)

診 察 カ ー ド

診察券は全科共通で使用いたします。
ご来院時に必ずお持ち下さい。

保 険 証

健康保険証はご来院時に確認させていただいております。
特に、更新・変更の際は必ずご提出下さい。

地域医療支援病院

北 見 赤 十 字 病 院

『理 念』

人道・博愛に基づき、患者様を尊重した医療を提供し地域の期待と信頼に応えます。

『基 本 方 針』

- 真に患者本位の医療を提供する、モラルと技術の高い病院を目指します。
- 二次～三次の救急医療と高度医療の充実した病院を目指します。
- 職員が成長でき、働く満足度の高い病院を目指します。
- 健全経営を行い、医療活動を通じて地域社会に還元します。

『患者様の権利』

- 誰もが年齢・性別・人種・職業などに関係なく公平に医療を受ける権利があります。
- 誰もが一人の人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利があります。
- 誰もが分かり易い言葉や方法で、理解・納得できる十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
- 誰もが納得したうえで自らの意思で医療行為を選択または拒否する権利があります。
- 誰もが説明に納得できない場合は他の病院・他の医師に意見を求めること（セカンド・オピニオン）ができる権利があります。
- 誰もがプライバシー（個人情報保護法）を厳格に保護される権利があります。
- 誰もが自分の診療記録の情報を得る権利があります。

『患者様へのお願い』

- 患者様及び御家族の方々は、患者様の健康状態、アレルギー歴、病歴等について出来るだけ正確にお伝え下さい。
- 医療スタッフの説明を良くお聞きになり、ご理解のうえ指示に従って治療や検査などの医療行為をお受け下さい。
- 病院内では秩序を保ち、他の患者様の迷惑にならない様をお願いいたします。
- 医療費は速やかにお支払い下さいますようお願いいたします。
- 当院は臨床研修病院として、卒前・卒後研修教育を担っています。医療専門職の育成にご理解・ご協力を願いたします。

北見赤十字病院

診療一覧表

*都合により担当医が変更になる場合があります。

平成26年10月1日現在

診 療 科			月	火	水	木	金
内 科・ 総合診療科	午 前		永嶋	永嶋	永嶋	永嶋	#北大血液内科
			栗田	栗田	栗田	栗田	栗田
			大野			大野	
			昭和大学	昭和大学	昭和大学	昭和大学	昭和大学
			吉田（知）			吉田（知）	
				#血液内科連携予約		#血液内科連携予約	
	午 後		医療センター	吉田（茂）		医療センター	
			#栗田	#栗田	#栗田	#栗田	#栗田
		#リウマチ・膠原病の地域医療連携予約は栗田の月～金（午後）					
			呼吸器内科（小笠 第1・3）呼吸器内科（水谷 第2・4）				
			検査・処置・急病診療				
消化器内科	午 前		大原 上林 川岸	江平 澤田 滝新	岩永 大原	江平 上林 滝新	岩永 澤田 川岸
	午 後		腫瘍内科				
			検査・予約診療・急患診療のみ				
循環器内科	午 前			斉藤	斉藤	斉藤	
			徳原 小森山	白川 小野	白川 小森山	白川	徳原 小野
			検査				
神経精神科	午前	新 患 (再来)	井本	嶋田	有末	交代制（嶋田/井本）	有末
			※もの忘れ外来は随時対応				
	再 来		有末	井本	嶋田	嶋田	嶋田
				伊藤	伊藤	有末 井本	有末 井本
			予約・急患診療のみ				
小 児 科	午 後		三河	佐藤	菅沼	三河	佐藤
	午 前		佐藤	菅沼	三河	佐藤	菅沼
				伊藤（智）		予防接種	
		午後 特 殊		伊藤（善）	三河	三河	1ヶ月健診
	工藤		乳児健診	伊藤（善）		工藤	
	佐藤			菅沼		伊藤（智）	
外 科	午前	新 患 再 来 専門外来	池田 宮坂	宮谷内 松永	宮坂 須永	松永 池田	新関 山口
			宮谷内・宮坂	新田・松永	新関・須永	浅野・池田	呼吸器外科・新関
	午後	再 来					
整形外科	午 前		菅原	#菅原	#松盛	#中川	#菅原
			#中川	松盛	清水	清水	中川
			二田水 （手術）	清水 手術	二田水 手術	二田水 手術	松盛 （手術）
	午 後		予約検査・手術	3ヶ月児股関節健診・手術	手術	手術	予約検査・手術
			#地域医療連携室予約担当医				
形成外科	午 前		藤井 （予約のみ）	手術	腋 （予約のみ）	藤井 腋	手術
	午 後		藤井 腋	手術	藤井 腋	手術 予約検査	予約外来
脳神経外科	午前	急患診療のみ	鈴木		鈴木		
	午後		急患診療のみ				
皮 膚 科	午 前		高橋 藤井	高橋 藤井	高橋 藤井	高橋 藤井	高橋 藤井
	午 後		高橋 藤井	手術/ フットケア外来	高橋 藤井	高橋 藤井	手術
泌 尿 器 科	午 前		藤井 玉木	藤井 玉木	藤井 玉木	藤井 玉木	藤井 玉木
	午 後		検査	手術	手術	出張医 手術	検査
産 婦 人 科	午前	婦人科	水沼 根岸 藤部	水沼 藤部 沼田	根岸 沼田 水沼	根岸 藤部 水沼	水沼 沼田 根岸
		産 科		担当医	担当医	担当医	
			手術	担当医	手術	担当医	手術
	午後	婦人科	手術	検査・母親学級	手術	1ヶ月健診・検査	手術
眼 科	午 前		菅原	菅原	予約検査（錦澤）	菅原	菅原
			錦澤	錦澤	予約診療	阿部	錦澤
			予約診療（阿部）	阿部	手術	出張医	阿部
	午 後		錦澤	予約診療	予約診療	予約診療	菅原
		阿部	予約検査	予約検査	予約検査	錦澤 阿部	
		予約診療（菅原）	手術	手術	手術		
頭 頸 部・ 耳鼻咽喉科	午 前		石田 和田	和田 山木	石田 山木	手術	石田 和田 山木
	午 後		予約診療	手術	手術	手術	予約診療・手術
放 射 線 科	午 前		有本	有本	有本	有本	リニアック治療中の患者診療のみ
	午 後		急患診療のみ				
麻 酔 科	午前（術前診察）		長谷川	棚橋	郭	千田	佐藤
	午前（ペイン）		佐藤				
	午後（ペイン）						荒川

平成26年度 内科系3診療科オープンカンファレンス症例検討内容

題 名		発表者	消化器内科	滝新悠之介
第1回	「耳鼻科領域悪性黒色腫加療後に胆石胆嚢炎の診断で胆のう摘出術を施行し術後病理学的検討を行った一例」	発表者	内科・総合診療科	永嶋貴博
	「血血小板減少症の一例」	発表者	内科・総合診療科	大野広志
第2回	「急激な視力低下をきたし、側頭動脈炎疑いで紹介された症例」	発表者	内科・総合診療科	徳原 教
	「鎖骨下動脈派血症候群に対する血管内治療の1例」	発表者	内科・総合診療科	山西竜太郎
第3回	「中枢性尿崩症(DI)合併顕微鏡的多発動脈炎(MPA)による2次性糖尿病病の一例」	発表者	消化器内科	澤田恵太郎
	「Eコで肝血管腫疑いとされEOB-MRIで初めて悪性を疑われた早期肝細胞癌の一例」	発表者	内科・総合診療科	永嶋貴博
第4回	「検診で白血球高値を指摘された40歳男性」	発表者	内科・総合診療科	永嶋貴博
	「当科で加療中の胆管癌の1例」	発表者	オホーツク医療環境研究講座 志谷 貴彦特任助教	
第5回	「ステロイド治療により高度房室ブロックが改善した心臓サルコイドーシスの一例」	発表者	循環器内科	小森山和弘
	「周期性発熱の一例」	発表者	内科・総合診療科	栗田崇史
第6回	「婦人科悪性腫瘍の化学療法中にニューモシチス肺炎(PCP)に合致する経過をたどった一例」	発表者	内科・総合診療科	田中恵理
	「化学療法を施行した胃癌の一例」	発表者	消化器内科	滝新悠之介

●開催予定日表

開催予定日		時 間
第8回	平成26年11月20日（木）	午後18時30分
	担当診療科	内科・総合診療科 循環器内科
第9回	平成27年2月19日（木）	午後18時30分
	担当診療科	内科・総合診療科 オホーツク医療環境研究講座

皆様のご参加をお待ちしております

北見赤十字病院

地域医療連携室

受付時間：月曜日～金曜日 午前8：30～午後5：00迄
TEL0120-018-299 FAX0120-018-599

ご意見、ご要望、お問い合わせがございましたら、地域医療連携室までお願いいたします。E-mail:renkei@kitami.jrc.or.jp